

講師に、病院マーケティングサミット JAPAN の竹田陽介氏と電通の大森康弘氏をお招きし、医学・医療ガイダンスを行いました。今回のガイダンスは、ポジティブに医療をとらえて、医療を自分事として考えるきっかけになればと、本校の高校1年次生と中学3年生に対して実施しました。当日は、二人の講師に加えて筑波メディカルセンターの遠藤友宏さんから病院の取組みについて紹介及び説明をしていただきました。



はじめに、電通の大森さんから、医学部志望から広告マンに転身した経緯や現代の医療・福祉についてや生活と医療とのつながりなどについてのお話をいただきました。次に竹田先生から、ワカモノ未来共創部の活動内容について(高校生が全国各地の病院などの医療現場で活動してきたもの、参加した高校生のアイデアで医療の未来をかえていく)、暮らし×医療を変える提案などについて説明していただきました。遠藤さんからは、院内活動のコーディネーターとしての取組みについて(筑波大の芸術系の学生さんのアイデアを利用して施設の改修やイベントの開催)説明していただきました。最後は、医学医療チームの今後の活動予定についての説明をいただきました。

ガイダンスに参加しての感想

- ・医療の道に進むという夢を叶えるためにとてもいい経験ができると思いこのチームに参加することを希望しました。
- ・まだはっきりとした夢は決まっていますが、医療系の道に進みたいと考えています。そこでこの機会を通して実際の医療現場や学部を見て学び、将来の道を決める経験を積みたいと考えました。
- ・医療の道に進むという夢を叶えるためにとてもいい経験ができると思いこのチームに参加することを希望しました。